

湯沢市職員採用試験

第一次試験

試験日 7月13日(日)

場 所 市役所本庁舎

試験区分	採用予定	受験資格
1 一般事務職 【上級】	4 人程度	次のいずれかの要件を満たす方 (ア)平成3年4月2日～平成17年4月1日生まれであること (イ)平成17年4月2日以降に生まれた方で、大学または高等専門学校を卒業もしくは令和8年3月までに卒業見込みであること
2 一般事務職 【就職氷河期世代】	2 人程度	昭和54年4月2日～平成2年4月1日生まれの方で、受付開始日以前1年間(令和6年5月2日～令和7年5月1日)に正規雇用労働者として雇用されていないこと ※詳細は受験案内を参照してください
3 一般事務職 【職務経験者】		昭和60年4月2日～平成13年4月1日生まれの方で、令和7年4月末日までに、国または地方公共団体における職務経験を、直近10年間において3年以上有し、かつ、5月1日現在就労中もしくは退職の日から3年以内であること ※詳細は受験案内を参照してください
4 技術職(土木) 【上級(専門試験枠・一般試験枠)】	1 人程度	一般事務職【上級】に同じ ※今年度から一般試験枠を新設し、技術職を希望する技術系大学以外の方の申込みも受け付けます
5 技術職(建築) 【上級(専門試験枠・一般試験枠)】	1 人程度	

※上記の試験区分の一つに限り受験できます。

申込み

5月30日(金)までに受験申込書を下記へ提出してください(郵送の場合は、当日消印有効)。
※受験申込書および受験案内は下記および各総合支所地域応援班の窓口に備え付けているほか、市ホームページからダウンロードできます。郵送を希望する場合は下記へご連絡ください。

市ホームページ



問 総務課人事給与班(☎55-8245)



先輩職員に聞きました！

まちづくり協働課
交流・未来づくり推進班
主事 阿部 花音
(令和6年度採用)



Q：市役所職員を目指した理由・きっかけを教えてください

A：高校卒業後、他県で事務をしていましたが、働くにつれ、故郷湯沢の温かさを感じる事が多く、地元へ恩返しをしたいという気持ちが芽生え、Uターンしました。その後別の仕事をしていましたが、より地域と密着した仕事をしたいと思い、市役所職員を目指しました。

Q：実際に仕事をしてみてどうですか

A：まず、市役所の仕事が幅広いことに驚きました。担当している業務で成果が表れるとやりがいを感じますし、色々な業務を経験してみたいとモチベーションが上がります。

Q：休みの日は何をして過ごしていますか

A：趣味のギターを弾いたり卓球の指導をしたり、よく旅行にも行きます。有給も取りやすく、公私とも充実した日々を送っています。

Q：市役所職員を目指す方へメッセージをお願いします

A：市役所の仕事は目立つものではないですが、一つ一つの業務が確実に誰かの支えになっています。市民の暮らしに寄り添い、湯沢市の未来を創り上げるために一緒に頑張りましょう！



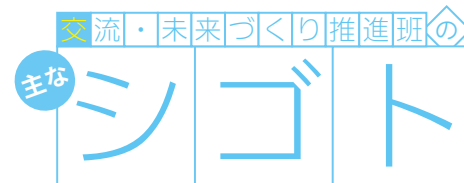
あきた就職フェアに出展し、市の魅力をPRしました



湯沢市役所 ふるさと未来創造部

まちづくり協働課 交流・未来づくり推進班 編

市役所では福祉や税、子育てなど市民の皆さんの生活に密着したシゴト以外にもさまざまなシゴトが行われています。今回は若者や女性の活躍推進や移住・定住対策に取り組んでいる「ふるさと未来創造部まちづくり協働課交流・未来づくり推進班」のシゴトを紹介します。



交流・未来づくり推進班の皆さん

人口減少対策

市外に住む学生へのふるさと仕送り支援や奨学金返還助成などを通じて若者のUターン・定住を図ります。



奨学金返還助成の相談窓口

少子化対策

婚活サポートやイクボスの促進などのさまざまな活動により、結婚・子育てがしやすい環境を整備します。



結婚支援に関する補助制度の情報を発信

若者や女性の活躍推進

高校生による「市長への提言」や、若者が集まるイベントへの支援を行い、活躍の機会を提供します。



高校生による「市長への提言」事業の開催

移住・定住対策

移住に関する相談会などを通じて、市への移住を検討している方をサポートします。



移住・交流イベント(東京)への移住相談ブースの出展

国内・国際交流

姉妹都市やドイツ・ジークブルク市などと交流し、まちの活性化やグローバル人材育成を目指します。



ドイツ・ジークブルク市訪問団の受け入れ